

災害派遣職員レポート

No.40 H23.7.12

陸前高田で活動している えびな北高齢者施設 藤村補佐よりの報告です。

本日は、こちらに来て思いがけずお休みを頂きました。

前回の報告から一週間近く経ってしまいましたが第二報を送ります。

竹駒地区の青空サロンは順調に運営できているように思います。

前回の報告にあった「竹駒地区以外の利用者がいない」ということについては、利用者とは話している中で他地区の方も利用していることが分かってきました。但し、地区毎に固まっての参加が多く、地区を超えての親睦が今後の課題かも知れません。「うるさい」と苦情を頂いた男性も、こまめに訪問し声掛けすることで気持ちがほぐれてきた様子です。

これらは、毎日仮設住宅の中を安否確認で声掛けしたりチラシを配ったりで訪問した結果だと思っています。

何より、お年寄りばかりでなく「うちのおばあちゃんに防水シートない？しょうがないから子供のおねしょシート使ってるのよ」等と子育て中の若いお母さんもサロンに情報を求めて顔を出して下さるようになりました。こういった情報交換の場として今後も機能していけるように仕組んで行きたいと思っています。

火曜日の細根沢サロンも前回同様、たくさんの参加者で賑わいました。

陸前高田社協は竹駒と細根沢をモデルケースにして他地区の仮設住宅でもサロンを立ち上げるべく準備をしています。

木曜日は長部地区で細根沢タイプ（週一回開催）のサロンを行いました。しかし、会場が現在も避難所として使っている所であった為、避難所生活者とサロン参加者の間に軋轢が生まれそうな状況となり今後の開催に課題を残しました。

こちらでの活動も残り実質2日となりました。竹駒の皆様と気心が知れた頃にお別れすることになりそうで心残りですが、次のチームにしっかり引き継げるように頑張ります。